

令和2年度予算編成方針

我孫子市水道局

はじめに

近年、人口減少が進む中、全国的に水道需要の縮小による料金収入の減収や水道施設の効率性低下が顕在化しています。一方で、浄水場や水道管路などの水道施設の老朽化や耐震化への備えから、施設の更新等が喫緊の課題となっており、そのため多大な資金の確保が求められるなど、水道事業の経営環境は厳しさを増しています。このことは、本市の水道事業でも共通の課題となっています。

本市は、平成30年度末に「我孫子市水道事業ビジョン」、「我孫子市水道事業基本計画」、「我孫子市水道事業経営戦略」等（以下、「我孫子市水道事業ビジョン等」という。）を策定しました。「我孫子市水道事業ビジョン等」では、国が示す50年、100年先の水道の将来像を踏まえたうえで、「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点から地域の実情に応じた課題を抽出し、令和元年度以降の10か年の水道事業経営の方針と事業計画を具体的に示しました。

令和2年度は、その計画期間の2年目にあたることから、昨年度に引き続き、「我孫子市水道事業ビジョン等」に掲げた施策の着実な執行を図りつつ、収支バランスに留意して事業を推進していくことを、本市の水道事業経営の基本とします。また、浄水場系と料金・給水・会計系の2つの包括委託については、新たな委託期間が始まります。次期包括委託では、従来よりも委託業務の範囲が拡大することから、これまでの業務成果を担保しながら、さらなるお客様サービスと業務効率性の向上を目指していきます。

水道事業においては、経営資源の減少により、困難さが増す状況にありますが、水道事業者には、安全な水を安定して供給していくための取組みを推進することが求められます。そのため、予算においては事業の健全性確保に最大限努めますが、将来に向けて多大な投資を賄う財政基盤の確保や施設運営に係る組織体制の維持・強化に向けた課題が一層顕在化することが見込まれます。令和2年度の予算編成も、水道局職員一人一人の高い問題意識のもとで調整し、将来にわたって健全で安定的な事業運営が持続できるよう、引き続き、事業の効果や効率性の精査をより徹底していきます。

1. 平成30年度決算及び令和元年度上半期経営概況について

① 平成30年度決算の概況

平成30年度水道事業会計決算では、水道事業収益の決算額28億53万5,056円に対し、水道事業費用の決算額は23億6,471万6,286円となり、総事業収支では黒字を確保しました。しかし、事業の根幹となる営業収益については給水量が前年度比で0.1%増となったものの、額としては前年度比0.3%減の21億7,245万1,006円となり、営業費用については人件費や修繕費、資産減耗費な

どの減により前年度比 0.2%減の 23 億 3,188 万 3,056 円となりました。この結果、営業収支は平成 23 年度から 8 年連続でマイナス（営業損失）となり、営業損失を給水申込納付金等の営業外収益で補う形となっています。

このように、水道事業全体の収支では黒字であるものの、収支の構造としては、実質的には給水収益の縮小が着実に進行していること、営業損失を給水申込納付金等の営業外収益で補っていること、施設更新等による資金需要の増が一層見込まれること等、厳しい経営状況が続いており、収支改善に向けた継続的な取り組みが強く求められているところです。

② 令和元年度上半期における経営概況

令和元年上半期における給水収益の予算執行率は 50.0%ですが、前年同月の執行累計額の比較では 0.9%の減となっています。また、営業外収益である給水申込納付金も前年同月の執行累計額に比べ 21.9%の減で、収益の面では厳しい状況となっています。長期前受金戻入益や減価償却費などの非現金収支科目の半期概算執行値を算入した予算執行率では、事業収益で 49.49%、事業費用で 44.43%となり、全体としては黒字基調で推移しています。しかし、収支の構造要因に改善が見込みにくいことから、下半期においても引き続き、健全経営の確保に向けた適切な事業執行管理を行います。

2. 令和 2 年度予算編成基本方針

前述したとおり、令和 2 年度は「我孫子市水道事業ビジョン等」の計画期間の 2 年目となることから、これらに掲げた取り組みを着実に実施していきます。

収益的収支予算は、給水収益を柱とする営業収益では営業費用を賄うことができないという構造的要因が影響するため、依然として厳しい予算調製となります。このため経常的な運営経費は、可能な限り簡素で効率的な経営につながるよう、事業の実績や成果を充分精査したうえで、所要額の調製をします。

資本的収支予算における建設改良事業は、「我孫子市水道事業ビジョン等」に掲げる整備事業の着実な執行を念頭に置き、浄水場の各種設備の整備については、適正規模での更新及び長寿命化等を踏まえながら実施します。水道管路整備では、経年劣化配水管路を耐震化する布設替え工事に際し、最大限経済合理性を確保して実施するものとします。また、資本的収入では、建設改良事業に必要な資金の一部を、前年度に引き続き企業債の借入により賄う予定ですが、起債対象事業の選定や当該事業における適債性判断等については、十分に協議・検討のうえ所要の費用を見込むこととします。

このほか、自然災害や水質事故などに即応するための危機管理体制の強化、職員の技術継承を踏まえた人材育成の実践等、水道局の組織機能強化に向けた取り組

みについても、実施内容を精査したうえで、所要額の計上をすることとします。

【令和2年度予算編成方針に基づく主な取り組み】

I. 安全

《良質な水道の維持》

- ・我孫子市水道事業水安全計画を活用した総合的な水質管理とリスクマネジメント
- ・自己水源（深井戸）の適正な維持管理

II. 強靱

《施設強靱性の維持》

- ・浄水場の各種設備の適正規模での設備更新と長寿命化に向けた計画的修繕工事の実施
- ・経年劣化配水管路の耐震化への布設替え工事の実施

《災害対応の強化》

- ・災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のための訓練実施

III. 持続

《水道事業の継続性確保》

- ・アセットマネジメントの活用
- ・水資源の効率的な活用方法の検討
- ・浄水場系および料金・給水・会計系の包括委託の着実な実施によるお客様サービスの向上と業務の効率化
- ・職員人材育成の実践

《財政健全性確保》

- ・企業債の活用による費用の平準化

《将来につなげる新施策の検討》

- ・水道事業運営手法や水道への再生可能エネルギー導入等の検討
（最新知見や先進事業者の動向に注視）